

事業所名 グループホーム悠遊荘

運営推進会議開催報告書

開催日時 令和 5年 2月27日(水) 14時00分～15時00分		
参加者		議題
利用者	0名	新型コロナウイルスのため、 運営推進会議の開催を中止とし書面にて意見照会を 行いました。 ・1月、2月活動報告 ・事故報告 ・研修 ・身体拘束適正化検討委員会 ・質疑応答
利用者家族	0名	
民生委員	2名	
地域住民の代表者	3名	
市職員	1名	
地域包括支援センター職員	1名	
事業所	4名	
会 議 録		
1. 1月、2月の活動報告		
1月		
2日(月)	N様	自宅に外出
5日(木)	M様	補聴器の理研に家族様と一緒に出かける。
6日(金)		往診
7日(土)	K様	陶生病院(脳梗塞治療のため) 入院
10日(火)	S様	訪問歯科
12日(木)	S様	家族様と一緒に外出
17日(火)	M様	転倒され大腿骨骨折 旭労災病院入院
18日(水)	S様	歯科受診
20日(金)	M様	しなのクリニック受診
22日(日)	たんぽぽの会	カラオケボランティア 6名来荘
26日(木)	H様	陶生病院受診
30日(月)	N様	家族様と外出
2月		
1日(水)	H様	なえば歯科 娘様と一緒に 14時 災害訓練 施設の裏山の崖崩れの想定で行う。 避難場所の地域交流センターぬくも里まで車2台で避難。
3日(金)		節分「袋入り甘納豆」を鬼に向かって投げる
4日(土)		理美容
6日(月)		往診
8日(水)		コロナ感染3名 (N様、H様、A様)
18日(土)	N様	皮膚科受診

20日(月) K様退院

23日(木) M様旭労災病院より退院

2. 事故報告

1月16日(火) 20時30分 M様 転倒

職員が他の利用者様の介護中「痛い」と大きな声が聞こえた。駆けつけるとリビングのテーブル横で右側を下にして転倒していた。意識は鮮明で頭は打っていないと言う。車いすで居室へ移動し湿布を痛む右大腿部に貼り様子を見る。

翌朝痛みのため立ち上がりができず、救急搬送にて旭労災病院へ。右大腿転子部骨折の診断でそのまま入院となる。19日手術施行。

1月20日(金) 午前8時20分 M様 中央トイレ 転倒

トイレからドンと音がしたので駆けつけると右側を下に倒れていた。

意識はあったが白目になっており顔面蒼白で右肩と右側頭部の痛みの訴えあり。

しなのクリニックを受診。頭部レントゲン撮影後異常なしの診断。

1月24日(火) 午前11時30分 H様、N様 誤薬

昼と夜の食前薬を間違えて夜の分を飲ませてしまう。

再発防止⇒

昼と夜を区別した薬のケースや薬包の印字を再確認して服用してもらう。

3. 研修

外部研修

①1月13日(金)

愛知医療センター名古屋第二病院 災害管理センター (zoom)

テーマ「学ぶことは守る事」 講師：津田雅康様

各体験者の事例報告を通して介護施設における災害対応を学ぶ。

②1月16日(月) zoom

瀬戸介護事業所連絡協議会 講師：よりそっと 山本正子様

テーマ「介護現場の接遇」

4. 身体拘束適正化検討委員会

2月22日(水) 職員会議での内部研修

「身体拘束ゼロへの手引き」に記されている11の行為の再確認をおこなう。

フィジカル・ドラッグ・スピーチロックになる介護はしてはいいないか？

具体例をもとに自分たちのケアをお互いに見直す。

5. 意見照会について

外部研修についてご意見をいただきました。

「介護現場の接遇化」について内容を教えて欲しい

⇒ *仕事をするうえで大切な5つ

- ①プロ意識 ② 専門職として ③ 利用者様の生活の場で生活をする
④ チームワーク ⑤一日の終わりに仕事を振り返る。

*第一印象をアップさせる接遇の5原則について学びました

頑張った事自分をほめる、反省する事（同じ事を繰り返さない）

*あいさつは人間関係の第一歩

あ・・明るくあたたかく、相手に目線を合わせて

い・・いつでも いくどと（だれにも）

さ・・先に自分から

つ・・続ける。（続けてひと言）

*毎日の生活の中にあるあいさつは本当に人間関係で心がける言葉で
勉強になりました。

次回開催予定 4月27日（木）